

北国の春

(昭和五十二年)

作詞 いではく 作曲 遠藤実

一 白樺 しらかば あおぞら みなみかぜ 南風

こぶし咲く さ あの丘 おか 北国の きたぐに

ああ 北国の春 きたぐに はる

季節が都会では きせつ とかい わからないだと

届いたおふくろの とど 小さな包み ちい っ

あの故郷へ ふるさと 帰ろかな かえ

二 雪どけ ゆき せせらぎ まるきばし 丸木橋

落葉松の芽が からまつ め 北国の きたぐに ああ北国の春 きたぐに はる

好きだとお互いに す たが 言い出せないまま い だ

別れてもう五年 わか ごねん あのこはどうしてる

あの故郷へ ふるさと 帰ろかな かえ

三 山吹き やまぶ 朝霧 あさぎり 水車小屋 すいしやごや

わらべ唄 うた 聞こえる北国の き きたぐに

ああ北国の春 きたぐに はる

あにきもおやじ似で に 無口な二人が むくち ふたり

たまには酒でも さけ 飲んでるだろか の

あの故郷へ ふるさと 帰ろかな かえ